

# 令和8年 水稻病害虫発生状況（6月）

## 1 葉いもち

補植用置苗の残存ほ場割合は、6月上旬では、全域で平年よりやや低く、6月下旬では、会津で平年よりやや高く、中通りで平年並、浜通りで平年よりやや低くなりました。置苗での葉いもちの発生は確認されませんでした（図1、図2、表1）。

置苗は、葉いもちの発生源になるため、ほ場に残存している場合は、速やかに処分してください。

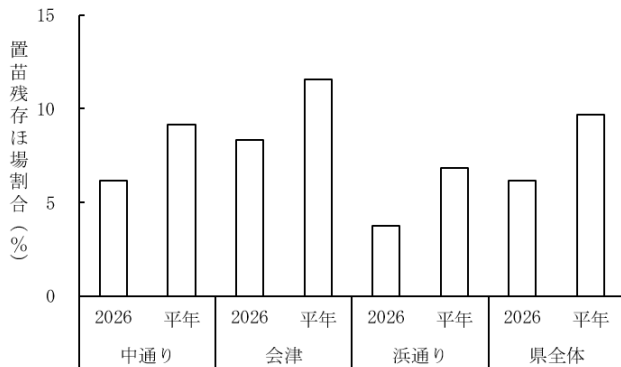


図1 補植用置苗のほ場への残存状況（6月上旬）

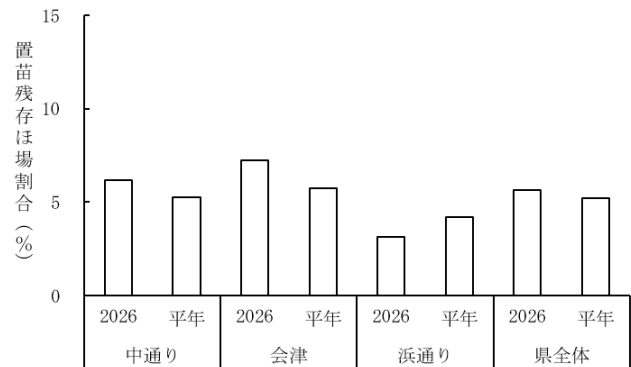


図2 補植用置苗のほ場への残存状況（6月下旬）

注) 調査ほ場数： 中通り： 6月上旬：260、 6月下旬：260  
 会津： 6月上旬：180、 6月下旬：180  
 浜通り： 6月上旬：160、 6月下旬：160

表1 補植用置苗での葉いもち初発確認日（令和8年6月23日現在）

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	平年
中通り	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
会津	—	6/21	6/11	—	—	6/17	—	—	—	—	—	6/14
浜通り	—	—	—	—	6/12	6/15	—	—	—	—	—	6/13

注) —は発病未確認を表す。

## 2 イネミズゾウムシ

発生ほ場割合は、6月上旬ともに、中通り、浜通りで平年より高く、会津で平年よりやや高くなりました。（図3、図4）。

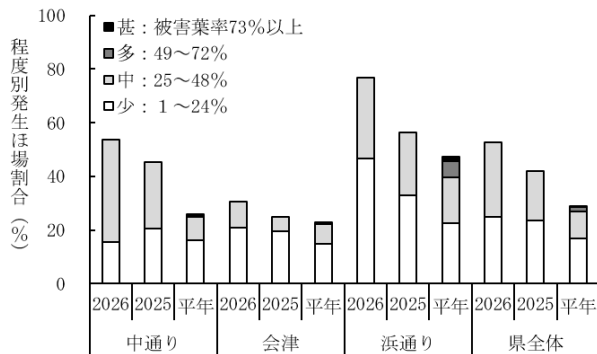


図3 イネミズゾウムシの発生状況（6月上旬）

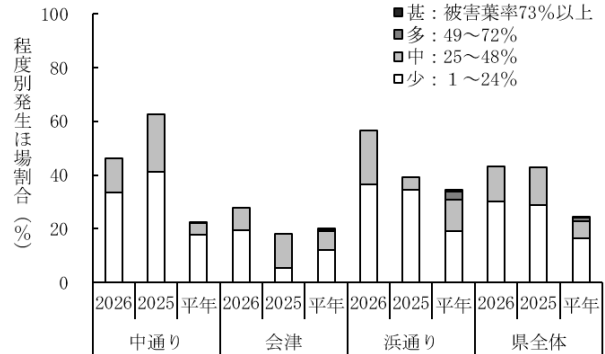


図4 イネミズゾウムシの発生状況（6月下旬）

### 3 イネドロオイムシ

発生ほ場割合は、6月上旬ともに、全域で発生を確認しましたが、発生程度はいずれも「微」でした（図5、図6）。

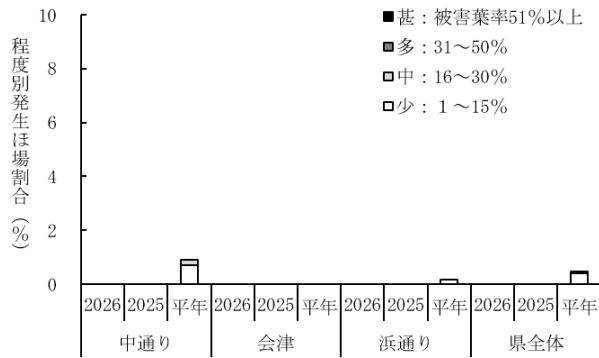


図5 イネドロオイムシの発生状況  
(6月上旬)

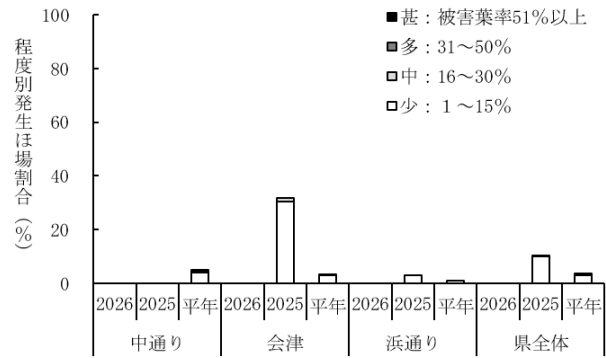


図6 イネドロオイムシの発生状況  
(6月下旬)

### 4 イネヒメハモグリバエ

発生ほ場割合は、会津、浜通りで平年並、中通りで平年よりやや低くなりました（図7）。

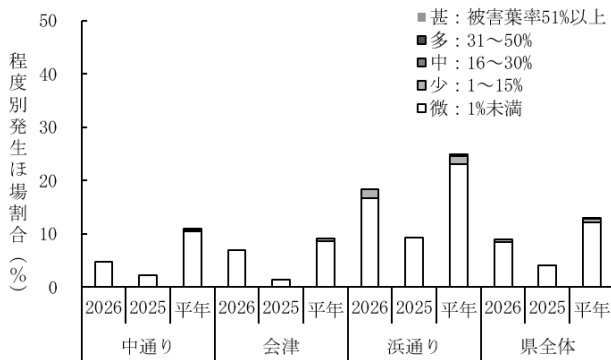


図7 イネヒメハモグリバエの発生状況  
(6月上旬)

## 5 斑点米カメムシ類

畦畔すくい取り調査による発生地点割合は、浜通りで平年よりやや高く、中通り、会津で平年並となりました（図8）。

発生種別では、全域でアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、中通り、浜通りでホソハリカメムシ、中通りの一部でクモヘリカメムシが捕獲されました（図9）。

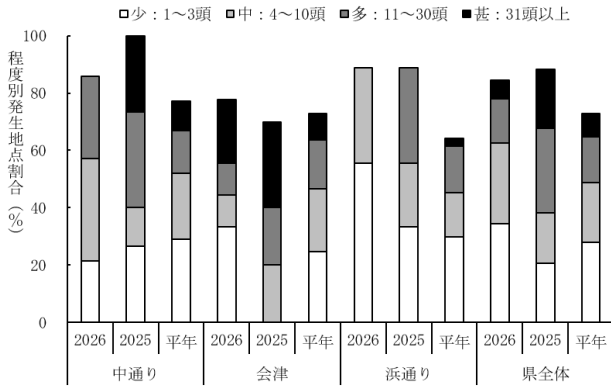


図8 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類成虫の程度別発生状況（6月下旬）

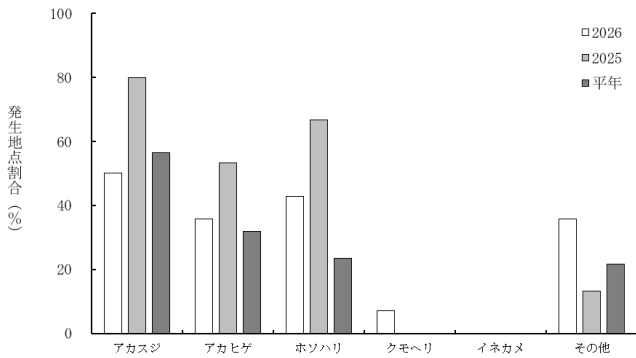


図9 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（中通り、6月下旬）

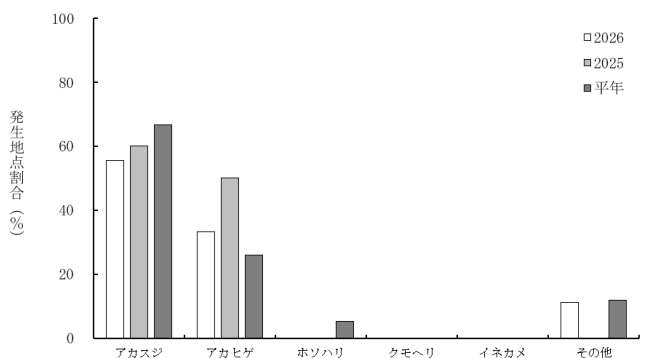


図10 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（会津、6月下旬）

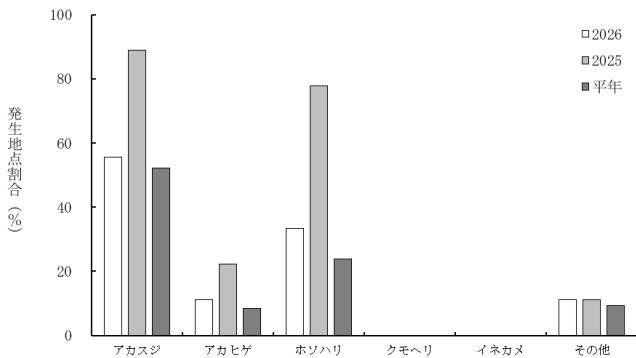


図11 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（浜通り、6月下旬）

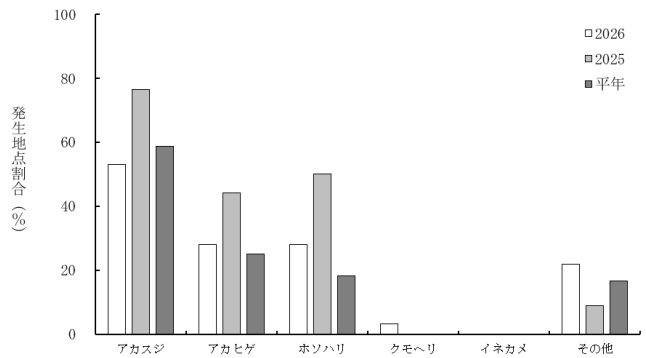


図12 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（浜通り、6月下旬）